

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和6年5月1日～令和6年5月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
1	JIS	改正	A5416	軽量気泡コンクリートパネル (ALCパネル)	Autoclaved Lightweight aerated concrete panels	この規格は、石灰質原料及びけい酸質原料を主原料とし、オートクレープ養生した軽量気泡コンクリートに鉄筋などの補強材を埋め込んだ、主に建築物に用いるパネルについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・断熱性能の試験方法 (JIS A1420 (建築用構材材の断熱性測定方法—校正熟箱法及び保護熟箱法) 附属書Bを引用) について、900mm角寸法の試験体を用いて熱抵抗を測定することが規定されているが、装置が高価で測定作業に熟練を要するため、試験方法をJIS A1412-1 (熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第1部: 保護熟箱法 (GHP法)) 又はJIS A1412-2 (第2部: 熱流計法 (HFM法)) により熱伝導率を測定する方法に変更し、パネル内部の補強材等を含めた見掛けの熱伝導率を突状に合った性能値で示すことで合理化・適正化を図る。【9.7.3】。 ・最近の製造・使用実態にあわせ、意匠パネルの例示を追加する【3.6】。 ・最近の使用実態にあわせ、厚形パネルの用途を一部改正する【4.1】。 ・曲げ強さなどの品質を明確化するため、有効厚さの定義を追加するとともに厚形パネルにおいて厚さ寸法を明確化する【箇条3及び6.1】。 ・2つ示している埋設部品の引き抜き試験に用いる装置について、力学モデルは一致していることから、どちらの装置で実施しても結果は同等であることを示す【附属書B (参考)】。 ・その他、最近の製造・使用実態にあわせる等所要の改正を行う。			一般社団法人ALC協会	一般財団法人日本規格協会
2	JIS	改正	B6336-2	マシニングセンター—試験条件—第2部: 垂直主軸をもつ機械の幾何精度 (垂直Z軸)	Test conditions for machining centres—Part 2: Geometric tests for machines with vertical spindle (vertical Z-axis)	この規格は、JIS B 6190規格群を参照して、垂直主軸 (垂直Z軸) をもつマシニングセンタの幾何精度試験について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1) 一般事項について、次の点を改める。 ・箇条構成を改め、この規格の適用に関する内容は「一般」としてまとめ、水準器を移動部及び固定部の両方に設置し、相対測定を行う方法は、複数の試験方法に共通するため、新たに「相対測定の考慮」に関する細分管条を追加し、規定する。 ・測定方法図について、ISO 10791-2:2023との整合を図るため、箇条構成を「一般」、「誤差の記号Eとともに使用される英文字」及び「誤差の方向」の3つに分類し、これらに関する規定を追加する。 ・試験していない軸に関する規定を追加する。 2) 静的精度検査について、次の点を改める。 ・名称を幾何精度試験に改めるほか、試験番号も修正し、マシニングセンタの全ての構造形態に適用する試験をG5.1～G5.14としてまとめる。 ・Z軸に平行な補助軸 (W軸) について、現在W軸をもつ成形MCは少なく、またISO 10791-2との整合を図るため、削除する。 3) ISO 10791-2との整合を図るため、4種類の工作保持テーブル (回転しない水平テーブル、垂直C軸回りに回転するテーブル、垂直C軸回りに回転し、水平A軸回りに傾斜するテーブル、垂直C軸回りに回転し、水平B軸回りに傾斜するテーブル) の運動に関する試験を新たに追加する。 4) 補助水平主軸、一つの数値制御回転軸をもつロータリー主軸頭、及び互いに直角な二つの数値制御回転軸をもつ旋回主軸頭に関する3つの附属書について、これらはマシニングセンタだけで使用されるとは限らないことから、別規格とするため、この規格から削除する。 5) 回転テーブル及び傾斜テーブルに属する回転軸誤差運動を抜く3つの附属書を新たに追加する。		ISO 10791-2:2023, Test conditions for machining centres—Part 2: Geometric tests for machines with vertical spindle (vertical Z-axis) (IDT)	一般社団法人日本工作機械工業会	一般財団法人日本規格協会
3	JIS	改正	B8210	安全弁	Safety devices for protection against excessive pressure—Safety valves	この規格は、設定圧力が0.1 MPa (ゲージ圧) 以上で、かつ、どの部の径が7 mm以上の全量式又は弁座口の径15 mm以上の揚程式安全弁について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・製品検査において、対応国際規格に定められている液体用の吹下りの規定を満足することは物理的に困難となる場合があるため、我が国の製造実態に合わせた内容に改正する。 ・ばねの規定において、対応国際規格の規定だけでは、検査が必須となる項目が不明瞭であり、また、ばね末端の仕上げ方法も物理的に困難となる場合があるため、我が国の製造実態に合わせた内容に改正する。 ・安全弁のサイジングにおいて、参照している海外規格では、安全弁のサイジングに使用する計算式 (Kv/粘度補正係数の計算式) が改正されている。この計算式をJISにも導入し、整合を図る。		ISO 4126-1:2013, Safety devices for protection against excessive pressure—Part 1: Safety valves + Amendment 1:2016 ISO 4126-7:2013, Safety devices for protection against excessive pressure—Part 7: Common data + Amendment 1:2016 (MOD)	一般社団法人日本ボイラ協会	一般財団法人日本規格協会
4	JIS	改正	B9921	光散乱式気中粒子計数器—校正方法及び検証方法	Light scattering airborne particle counter for clean spaces	この規格は、空気を吸引し、その中に含まれる浮遊粒子の粒径、及び個数又は粒子個数濃度を測定する、光散乱式気中粒子計数器の校正方法及び試験方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義において、“計数効率”の用語定義を修正する。 ・“性能”及び“試験方法”において、現行規格では“粒径区分のしきい値設定方法”と“粒径区分のしきい値の誤差”に関する規定を別々に細分管条としているが、それぞれ一つの細分管条での規定に統合する。 ・計数効率において、最小可測粒径の2倍より大きいサイズでの計数効率評価に関する記述を追記する。 ・“性能”の“試験報告書”において、細分管条の題名を“試験報告書及び校正証明書”に変更する。 ・“試験方法”の“計数効率”において、細分管条を追加してその題名を“並行測定法”とし、さらに“発生器法”に関する記載を追記する。 ・“計数効率”について記載している附属書Aに、“大粒径における計数効率評価方法”を追加する。		ISO 21501-4:2018 + AMD1:2023, Light scattering airborne particle counter for clean spaces (MOD)	公益社団法人日本空気清浄協会	一般財団法人日本規格協会
5	JIS	改正	T7333	屈折補正用眼鏡レンズの透過率の仕様及び試験方法	Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses—Transmittance specifications and test methods	この規格は、アンカットフィニッシュ眼鏡レンズ及び挿入されていない眼鏡レンズの太陽放射減衰を含む透過率特性に関する要求事項について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・用語及び定義において、現行規格で規定している6用語を削除し、JIS T 7330を引用する規定に変更する。 ・紫外線吸収率及び紫外線透過率について、それらに関するレンズの性能を標ぼう (榜) する場合には、標ぼう (榜) するカット率 (吸収率又は透過率) に対し、吸収率であれば-0.5 %未満、透過率であれば+0.5 %未満までを許容範囲とする要求事項を追加する。 ・フクロロミッドレンズの試験に使用する光源について、従来の2ランプ式に加え1ランプ式の規定を追加する。 ・表示に関して、例えば、紫外線透過率に関して、この規格の規定を満たさないものには、“日中屋外での使用には適さない”旨の警告表示をする要求事項を追加する。 ・附属書において、ブルーライト透過率の計算方法の規定を追加する。		ISO 8980-3:2022, Ophthalmic optics—Uncut finished spectacle lenses—Part 3: Transmittance specifications and test methods (IDT)	日本医用光学機器工業会	一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記
 1: 意見及び異議受付期間は、令和6年5月1日～令和6年5月30日
 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
6	JIS	改正	T8154	防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具 (現行名称:有毒ガス用電動ファン付き呼吸用保護具)	Powered air purifying respirator for toxic gases	この規格は、事業場その他の場所において、有毒なガス若しくは蒸気又は有毒ガスと混在する粒子状物質を吸入することによって、人体に有害な影響を及ぼすおそれがある環境で用いるる過式の防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具(以下、G-PAPRという。)について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・規格名称において、「有毒ガス用電動ファン付き呼吸用保護具」を「防毒機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具」に改める。 ・種類において、吸収缶の種類による区分の除毒能力をL級に相当するものだけとし、H級及びM級の区分を削除する。また、漏れ率による区分において、基準値を一つだけとし、漏れ率による区分を削除する。 ・性能及び試験方法において、種類の箇条で削除する区分に対応させた規定内容に改める。 ・構造において、防毒マスク用の吸収缶は、G-PAPRに取り付けられない構造とする規定を追加する。			公益社団法人日本保安用品協会 一般財団法人日本規格協会
7	JIS	改正	T8157	防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具 (現行名称:電動ファン付き呼吸用保護具)	Powered air purifying respirator for particulate matter	この規格は、事業場その他の場所において、空気中に浮遊する粒子状物質を吸入することによって、人体に有害な影響を及ぼすおそれがある環境で用いるる過式の防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具(以下、P-PAPRという。)について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・規格名称において、「電動ファン付き呼吸用保護具」を「防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具」に改める。 ・適用範囲において、「ろ過式の電動ファン付き呼吸用保護具」を「ろ過式の防じん機能を有する電動ファン付き呼吸用保護具」に改め、規格全体の略語の表記をP-PAPRに改める。			公益社団法人日本保安用品協会 一般財団法人日本規格協会
8	JIS	改正	Z3224	ニッケル及びニッケル合金被覆アーク溶接棒	Nickel and Nickel-alloy covered electrodes	この規格は、ニッケル及びニッケル合金被覆アーク溶接棒について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・溶着金属の化学成分において、化学成分を表す記号にNi 6056, Ni 6172, Ni 6045, Ni 6055, Ni 6093B, Ni 6132, Ni 6133B, Ni 6182B, Ni 6182B, Ni 6007, Ni 6035, Ni 6059B, Ni 6276B, Ni 6455B, Ni 6625B, Ni 6886B, Ni 6117B, Ni 1069B及びNi 1362の18種類を追加する。 ・溶着金属の化学成分において、「表1に規定する溶着金属の化学成分と異なる溶接棒については、表1に規定する類似の化学成分を表す記号の前に“Z”を付ける。」及び“Z”を付ける場合、化学成分を表す記号が同一であっても、必ずしも化学成分が同等ではないため、相互に置き換えることはできないことがある。」を追加する。 ・溶着金属の化学成分において、一部種類の規定値を変更する。 ・溶着金属の機械的性質において、上記の18種類の規定値を追加する。 ・溶着金属の機械的性質において、一部種類の規定値を変更する。	ISO 14172:2023, Welding consumables— Covered electrodes for manual metal arc welding of nickel and nickel alloys— Classification(MOD)	一般社団法人日本溶接協会 一般財団法人日本規格協会	